

第 33 回鳥類内分泌研究会プログラム

2008 年 11 月 13 ~ 14 日

ホテルヴィレッジ

11 月 13 日 (木)

11:30 参加受付開始

13:35 開会の挨拶

*若手研究奨励賞応募演題

研究発表 : 環境・行動に関連したセッション (13:40 - 14:40)

座長: 古瀬 充宏 (九州大)、森 誠 (静岡大)

- * - 1 コシジロキンパラの歌の地域差とその成立要因
- 地理的分布、同所近縁種、内分泌環境が影響する可能性 -
香川紘子^{1,2}、鈴木研太^{1,3}、山田裕子^{1,4,5}、林端興⁶、長谷川寿一²、
岡ノ谷一夫^{1,4} (¹理研 BSI・生物言語、²東京大・院・総合文化、³
埼玉大・院・理工、⁴千葉大・院、⁵東京海洋大、⁶台湾特有生物研究
所)
- * - 2 鳥類の新規ニューロステロイドである 7 α -ヒドロキシプレグネノロンはウズラの
攻撃行動の発現を高める
小倉夕季、井上和彦、筒井和義 (早稲田大・教育総合科学学術院・
統合脳科学)
- * - 3 野鳥の重金属汚染に関する疫学的研究 3) 新たな指標であるカドミウム
標準回帰直線を用いた生物モニタリングの可能性
高梨ありこ¹、森誠²、小河孝¹、本藤良³、植田富貴子³、望月真理子¹
(¹日獣大・看護・応用、²静岡大・応用生物科学、³日獣大・公衆)
- * - 4 野鳥の重金属汚染に関する疫学的研究 4) カドミウム標準回帰直線を用
いた解析の実例
三浦睦¹、森誠²、小河孝¹、本藤良³、植田富貴子³、望月真理子¹
(¹日獣大・看護・応用、²静岡大・応用生物科学、³日獣大・公衆)

研究発表 : 遺伝子発現に関連したセッション (14:40 - 15:40)

座長: 塚田 光 (名古屋大)、田中 実 (日獣大)

- * - 1 ニワトリ消化管および肝臓におけるニューロテンシンとその受容体の発現動態
沼尾真人、和田智子、山本一郎、田中実 (日獣大・院・獣医生命)
- * - 2 Pit-1w は鳥類特異的アイソフォームではない
谷内秀輔、鑛山宗利、高橋純夫、竹内 栄 (岡山大・院・自然科学)
- * - 3 鳥類におけるレンチウイルスを用いた遺伝子発現制御
東久美子¹、加藤泰弘¹、中尾暢宏¹、吉村崇^{1,2}
(¹名古屋大・院・生命農学、²名古屋大・鳥類バイオサイエンス研究センター)
- 4 GHR欠損(矮性)ニワトリを用いた肝臓でのJAK2-STAT5シグナル伝達様式の解析
田原謙一¹、吉里秀雄²、笹浪知宏³、奥村健太¹、山田規久美¹、齋藤昇¹、島田清司¹、塚田光¹ (¹名古屋大・院・生命農、²名古屋工大・院・工、³静岡大・農)

休憩 (15:40 - 15:55)

シンポジウム「鳥類下垂体研究の最近の歩みと今後の展望」(15:55 - 17:55)

座長: 大久保 武 (香川大)

- S - 1 ニワトリ胚における初期下垂体発生機構
高木 宏泰 (埼玉大学大学院理工学研究科)
- S - 2 ニワトリの羽装形成と局所メラノコルチン制御系
竹内 栄 (岡山大学大学院自然科学研究科)
- S - 3 日長情報の中継地、下垂体隆起葉
吉村 崇^{1,2} (¹名古屋大学大学院生命農学研究科、²名古屋大・鳥類バイオサイエンス研究センター)

S - 4 新規視床下部ホルモン GnIH によるゴナドトロピンの分泌制御
筒井 和義 (早稲田大学教育総合科学学術院統合脳科学研究室)

エクスカージョン 1 : 湯畑めぐり (17:55 - 19:15)

世話人会

懇親会 (19:15 - 21:00)

懇話会 (21:00 -)

11月14日(金)

エクスカージョン 2 : 早朝散歩 (7:00 - 8:00)

朝食 (7:15 - 9:10)

研究発表 : 繁殖・生殖に関連したセッション (9:10 - 10:10)

座長 : 北澤 多喜雄 (酪農大) 小林 哲也 (埼玉大)

- * - 1 ニワトリの卵胞顆粒膜細胞におけるプロジェステロン産生におよぼすカルシトニンの影響
笠井俊輔、高橋哲也、川島光夫 (岐阜大・院・農学研究科)
- * - 2 ニワトリの卵管腔部におけるプロスタグランジン F₂ 受容体について
下田祥子、高橋哲也、川島光夫 (岐阜大・院・応用生物科学研究科)
- 3 ニワトリの下垂体後葉の細胞膜におけるエストロゲン・レセプターについて
高橋哲也、川島光夫 (岐阜大・院・応用生物科学研究科)
- * - 4 ニワトリの発育中の卵胞におけるβディフェンシンの免疫組織化学的検出
Mohammed Abdallah Abdelsalam、磯部直樹、吉村幸則 (広島大・院・生物圏科学)

研究発表 : エネルギー代謝に関連したセッション (10:10 - 10:55)

座長: 豊後 貴嗣 (広島大)

- * - 1 鳥類レプチン情報伝達における SOCS3 の作用機序
安達洋泉、松尾香那、大久保武 (香川大・農)
- 2 ハトの内因性発熱物質
野本茂樹 (都老人研・中枢神経)
- 3 有羊膜類の UCP 分子進化
加藤恵介、朴民根 (東大・院・理・生物科学)

休憩 (10:55 - 11:10)

特別講演 : (11:10 - 12:00)

座長: 坂井 貴文 (埼玉大)

ホルモンを測り始めた行動生態学: メカニズムと行動進化の理解を目指して
濱尾 章二 (国立科学博物館附属自然教育園)

昼食 (12:00 - 12:50)

研究発表 : 脳機能に関連したセッション (12:50 - 14:05)

座長: 竹内 栄 (岡山大)、吉村 崇 (名古屋大)

- * - 1 抗ニワトリ BMAL1、CRY1 抗体の作製とウズラ脳における時計タンパク質の発現
池上啓介¹、加藤泰弘¹、東久美子¹、吉村崇^{1,2} (¹名古屋大・院・生命農学、²名古屋大・鳥類バイオサイエンス研究センター)
- * - 2 ウズラ視床下部背側部の電気破壊の光周性に及ぼす影響
○中根右介¹、東久美子¹、海老原史樹文^{1,2}、吉村崇^{1,2} (¹名古屋大・院・生命農学、²名古屋大・鳥類バイオサイエンス研究センター)
- * - 3 幼雛期種鶏における中枢メラノコルチンシステムの比較
白石純一、柳田光一、西川文也、田原有紀、後藤達彦、鬼塚慎一、都築政起、豊後貴嗣 (広島大・院・生物圏科学研究科)

- * - 4 コルチコステロン投与がニワトリヒナ中枢の遺伝子発現に及ぼす影響
柳田光一、白石純一、田原有紀、西川文也、豊後貴嗣（広島大・院・生物圏科学研究科）

- 5 性分化における脳の役割 - 脳交換キメラを用いた解析
前川文彦¹、桜井美弥乃¹、田中光一¹、只野亮²、都築政起²、 浜崎浩子¹（¹東京医科歯科大・難治疾患研究所、²広島大・院・生物圏科学研究科）

若手優秀発表賞の発表・表彰、閉会の挨拶（14:05 - 14:20）